

ピアホームだより

2024. 11. 10

ご利用者さんによるトーク会を行いました

10月5日、はすね会（板橋区で活動されている家族会）の年間行事に招かれ、利用者さんの体験や思いを発表してきました。障害児を持つ親と子の理解を深めていこうとの主旨です。参加されていた当事者家族の方は10数名ほど。アドボケイト会からは、ピアホームから一人、リトルハウスから一人。職員とのインタビュー形式で10の質問に答えていただきました。初めてお会いする方を前にして緊張もあったと思いますが、堂々とやり遂げていました。

今回は、ピアホームご利用者さんのインタビューについてお話しします。

お話を受けたのは半年ほど前、その時から作業所の経験豊富な方なので発表をお願いしたAさんは、最初自信がない様子でし

たがその間に就労に就くことも出来、みるみる自信をつけて行ったように思います。

1. まずは自己紹介から

お名前、住んでいる場所、年齢など。

2. 現在の生活について

平日は週に5日、朝6時に起きて清掃の仕事に通っている。休みの日には福祉サービスで出会った友人と過ごすことが多い。

3. 最初に受診に至った経緯

23才の頃から調子が悪くなり、ご家族のすすめで受診に至った。診察券を保管していて年金受給に繋がった。

4. お薬について

診断が躁鬱病だったり統合失調症だったりでお薬も少し違ったが、順調に服薬できている。あまり話を聞いてくれない先生もいたが、主治医はかなり変えて来た。今はいいところが良いといったクリニックを選び通っている。

5. グループホームに暮らすきっかけ

両親が相次いで亡くなり、調子が悪くなって入院した先で福祉と繋がり、退院時、計画相談の方からの提案でグループホームに繋がった。

6. 就労について

仕事がしたいという思いは強く、日中活動も就労に近いサービスを利用していた。仕事内容が覚えにくかったり、他の人と比べてしまい転所を繰り返していた。でも、たくさん転所を経たことで自分に合う所も見つけられ、コミュニケーションスキルも身についた。清掃の仕事は、ひとりで出来るところが良さそうと思い、応募した。

7. 福祉サービスの利用について

ほとんどの作業所を経験した。合わないところも多かったが、合う居場所を見つけることができ、通所を続け就労に繋げることが出来た。

8. これまでに振り返って

いちばん辛かったのは親が亡くなった時。どうしたらいいかわからなくなった。

9. 現在の楽しみ

食べること！

10. 障がいをもつ仲間へのメッセージ

ひとりでいると閉じこもってしまう。人との繋がりがあるといい。

11月の予定：

2日 事例検討会